

期 間 入 札 の 公 告

令和 8年 6月15日

長崎地方裁判所民事部

裁判所書記官 上 村 哲 次

別紙物件目録記載の不動産を下記のとおり期間入札に付します。

記

入札期間	令和 8年 7月 3日 午前 8時30分から 令和 8年 7月10日 午後 4時00分まで
開札期日	日 時 令和 8年 7月14日 午前10時00分 場 所 長崎地方裁判所検察審査会会議室
売却決定 期日	日 時 令和 8年 8月 4日 午前 9時50分 場 所 長崎地方裁判所民事部
買受申出の保証の 提供方法	下記のいずれかによる。 (1) 当裁判所の預金口座に金銭を振り込んだ旨の金融機関の証明書。 (2) 銀行, 損害保険会社, 農林中央金庫, 商工組合中央金庫, 全国を地区とする信用金庫連合会, 信用金庫又は労働金庫の支払保証委託契約締結証明書。
買受申出の資格の 制限(民事執行規則 33条)	☆印を付した物件は農地であるので, 権限を有する行政庁の交付した買受適格証明書を有する者及び買受けについて農地法上の許可又は届出を必要としない者に限り, 買受申出をすることができます。
一般の閲覧に供するため, 物件明細書・現況調査報告書・評価書の各写しを令和 8年 6月15日から当庁物件明細書等閲覧室に備え置きます。	

物 件 目 録

1 所 在 西彼杵郡長与町吉無田郷字切立
地 番 579番99
地 目 宅地
地 積 200.56平方メートル

所有者 A

2 所 在 西彼杵郡長与町吉無田郷字切立 579番地99
家屋 番号 579番99
種 類 居宅
構 造 木造セメント瓦葺2階建
床 面 積 1階 97.92平方メートル
2階 25.79平方メートル

(現況)

床 面 積 1階 概測81.92平方メートル
2階 25.79平方メートル

共有者 A 持分2分の1
共有者 B 持分2分の1

物 件 明 細 書

令和 8年 2月 5日

長崎地方裁判所民事部

裁判所書記官 浦 川 敏 朗

1 不動産の表示

【物件番号1, 2】

別紙物件目録記載のとおり

2 売却により成立する法定地上権の概要

なし

3 買受人が負担することとなる他人の権利

【物件番号1, 2】

なし

4 物件の占有状況等に関する特記事項

【物件番号1】

本件土地所有者A及び本件建物共有者Bが占有している。

【物件番号2】

本件建物共有者Bが占有している。

5 その他買受けの参考となる事項

なし

《 注 意 書 》

- 1 本書面は、現況調査報告書、評価書等記録上表れている事実等を記載したものであり、関係者間の権利関係を最終的に決める効力はありません（訴訟等により異なる判断がなされる可能性もあります）。
- 2 記録上表れた事実等がすべて本書面に記載されているわけではありませんし、記載されている事実や判断も要点のみを簡潔に記載されていますので、必ず、現況調査報告書及び評価書並びに「物件明細書の詳細説明」も御覧ください。
- 3 買受人が、占有者から不動産の引渡しを受ける方法として、引渡命令の制度があります。引渡命令に関する詳細は、「引渡命令の詳細説明」を御覧ください。

- 4 対象不動産に対する公法上の規制については評価書に記載されています。その意味内容は「公法上の規制の詳細説明」をご覧ください。
- 5 各種「詳細説明」は、閲覧室では通常別ファイルとして備え付けられています。

物 件 目 録

1 所 在 西彼杵郡長与町吉無田郷字切立
地 番 579番99
地 目 宅地
地 積 200.56平方メートル

所有者 A

2 所 在 西彼杵郡長与町吉無田郷字切立 579番地99
家屋 番号 579番99
種 類 居宅
構 造 木造セメント瓦葺2階建
床 面 積 1階 97.92平方メートル
2階 25.79平方メートル

(現況)

床 面 積 1階 概測81.92平方メートル
2階 25.79平方メートル

共有者 A 持分2分の1
共有者 B 持分2分の1

令和7年(ケ)第 13号
令和7年12月 9日受理
令和8年 1月30日提出

現況調査報告書

長崎地方裁判所

執行官 有 川 隆

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

物 件 目 録

1 所 在 西彼杵郡長与町吉無田郷字切立
地 番 579番99
地 目 宅地
地 積 200.56平方メートル

所有者 A

2 所 在 西彼杵郡長与町吉無田郷字切立 579番地99
家屋 番号 579番99
種 類 居宅
構 造 木造セメント瓦葺2階建
床 面 積 1階 97.92平方メートル
2階 25.79平方メートル

共有者 A 持分2分の1

共有者 B 持分2分の1

不動産の表示	「物件目録」のとおり														
住居表示	(住居表示未実施)														
土地	物件1														
現況地目	<input checked="" type="checkbox"/> 宅地(物件1) <input type="checkbox"/> 公衆用道路(物件) <input type="checkbox"/> (物件)														
形状	<input checked="" type="checkbox"/> 公図のとおり <input type="checkbox"/> 地積測量図のとおり <input checked="" type="checkbox"/> 建物図面(各階平面図)のとおり <input checked="" type="checkbox"/> 土地建物位置関係図のとおり <input type="checkbox"/>														
占有者及び占有状況	<input checked="" type="checkbox"/> 土地所有者 <input type="checkbox"/> その他の者 上記の者及び建物所有者Bが本土地上に下記建物を所有し、占有している <input type="checkbox"/> 「占有者及び占有権原」のとおり														
下記以外の建物(目的外建物)	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある(詳細は「目的外建物の概況」のとおり)														
その他の事項	<input checked="" type="checkbox"/> カーポートが存する。														
建物	物件2														
種類、構造及び床面積の概略	<input type="checkbox"/> 公簿上の記載とほぼ同一である <input checked="" type="checkbox"/> 公簿上の記載と次の点異なる(<input checked="" type="checkbox"/> 主たる建物 <input type="checkbox"/> 附属建物) <input type="checkbox"/> 種類: <input type="checkbox"/> 構造: <input checked="" type="checkbox"/> 床面積: 1階 概測81.92㎡ 2階 25.79㎡														
物件目録にない附属建物	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある <table border="0" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">{</td> <td style="padding-left: 5px;">種類:</td> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">{</td> <td style="padding-left: 5px;">構造:</td> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">{</td> <td style="padding-left: 5px;">床面積:</td> </tr> </table>			{	種類:	{	構造:	{	床面積:						
{	種類:														
{	構造:														
{	床面積:														
占有者及び占有状況	<input checked="" type="checkbox"/> 建物所有者B <input type="checkbox"/> その他の者 上記の者が本建物を住居として使用している <input type="checkbox"/> 「占有者及び占有権原」のとおり														
上記以外の敷地(目的外土地)	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある(詳細は「目的外土地の概況」のとおり)														
その他の事項															
執行官保管の仮処分	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある <table border="0" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">{</td> <td style="padding-left: 5px;">地方裁判所</td> <td style="padding-left: 20px;">支部</td> <td style="padding-left: 20px;">令和</td> <td style="padding-left: 20px;">年()第</td> <td style="padding-left: 20px;">号</td> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">{</td> <td style="padding-left: 5px;">保管開始日</td> <td style="padding-left: 20px;">令和</td> <td style="padding-left: 20px;">年</td> <td style="padding-left: 20px;">月</td> <td style="padding-left: 20px;">日</td> </tr> </table>			{	地方裁判所	支部	令和	年()第	号	{	保管開始日	令和	年	月	日
{	地方裁判所	支部	令和	年()第	号										
{	保管開始日	令和	年	月	日										
土地建物の位置関係	<input checked="" type="checkbox"/> 建物図面(各階平面図)のとおり <input checked="" type="checkbox"/> 土地建物位置関係図のとおり														

(注) チェック項目中の調査結果は、「」の箇所の記載のとおり

関係人の陳述等	
陳述者 (当事者等との関係)	陳述内容等
■ B (建物共有者)	<p>① 本件建物は、私が住居として利用しています。ここは亡父が建てた家で、私も子供の時から住んでいましたが、一旦家を出て、その後、戻ってきたのが今から約17年前になります。</p> <p>② 本件土地は、亡くなった兄Aの所有で、本件建物もAが2分の1の共有持分を有していましたが、本件建物を私が利用することについて、特にAと契約を交わしたことはなく、無償で利用していました。</p> <p>③ 本件建物内では、ペットとして猫を一匹飼っています。そのため内壁には、あちこちに引っ掻き傷があります。</p> <p>④ 本件建物の増改築に関してですが、私が戻って住むことになった時に、約850万円の費用をかけて、減築及びリフォーム工事を行いました。減築した場所は、1階南東側の和室部分になります。リフォームしたのは、主に1階部分で、壁、床、キッチン、トイレ、浴室等を新しくして、外壁も塗装を行いました。それから、最近では5年前に屋根の塗装をしました。</p> <p>⑤ 隣接する土地所有者との間で境界に関する争いはありません。</p> <p>⑥ 本件建物に関して、雨漏りやシロアリの被害はありません。2階和室2の天井に、雨漏りのような跡が見られますが、あの場所は、昔、小火が起きて、消火器で消した跡が、残ったままになっています。</p> <p>⑦ カーポートは、亡父が設置したものと思いますが、時期はわかりません。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

執行官の意見

- ① [土地の形状・範囲に関する意見]
物件1土地(以下「本件土地」という。)の形状は、法14条地図、現地概測等から、概ね、土地建物位置関係図のとおりであり、周辺をブロック塀等で囲われていることから、形状及び範囲は明確化されているものと思料する。
- ② [建物の形状、増築に関する意見]
物件2建物(以下「本件建物」という。)は、関係人の陳述のとおり、約17年前に滅築されており、現況は、間取図のとおりである。
- ③ [土地の占有権限に関する意見]
本件土地は、本件建物の敷地として利用されており、同土地の占有関係は2枚目記載のとおり認定した。
- ④ [建物の占有権限に関する意見]
本件建物の占有関係は、前記関係人の陳述及び建物の状況から2枚目記載のとおり認定した。
- ⑤ [接面道路に関する意見]
本件土地の南西側は、幅員約6メートルの町道(青葉台団地15号線)に、南東側は、幅員約6メートルの町道(青葉台団地10号線)に、それぞれ接面している。
- ⑥ [その他の意見]
- ・ 本件土地上にあるカーポートは、土地との接合状況から、土地の定着物と認定した。
 - ・ 本件土地上の門柱付近に亀裂が見られた。

以上

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

調 査 の 経 過		
調 査 の 日 時	調 査 の 場 所 等	調 査 の 方 法 等
R7年12月12日 (金) 15:10-15:25	長崎地方法務局	全部事項証明書、公図等交付申請
R7年12月12日 (金) 16:04-16:15	物件所在地	物件特定、外観調査、立入調査日程調整
R8年1月7日 (水) 9:49-10:40	物件所在地	立入調査、占有関係調査
<p>(特記事項)</p> <p><input type="checkbox"/> 令和 年 月 日。 目的物件は不在で施錠されていると予想されたので、立会人及び解錠技術者を同行して臨場した。</p> <p><input type="checkbox"/> 令和 年 月 日 目的物件は不在で施錠されていたので、立会人 を立ち合わせ、技術者に解錠させて建物内に立ち入った。..</p> <p><input type="checkbox"/> 令和 年 月 日 休日・夜間執行許可の提示をした。</p> <p><input type="checkbox"/></p>		

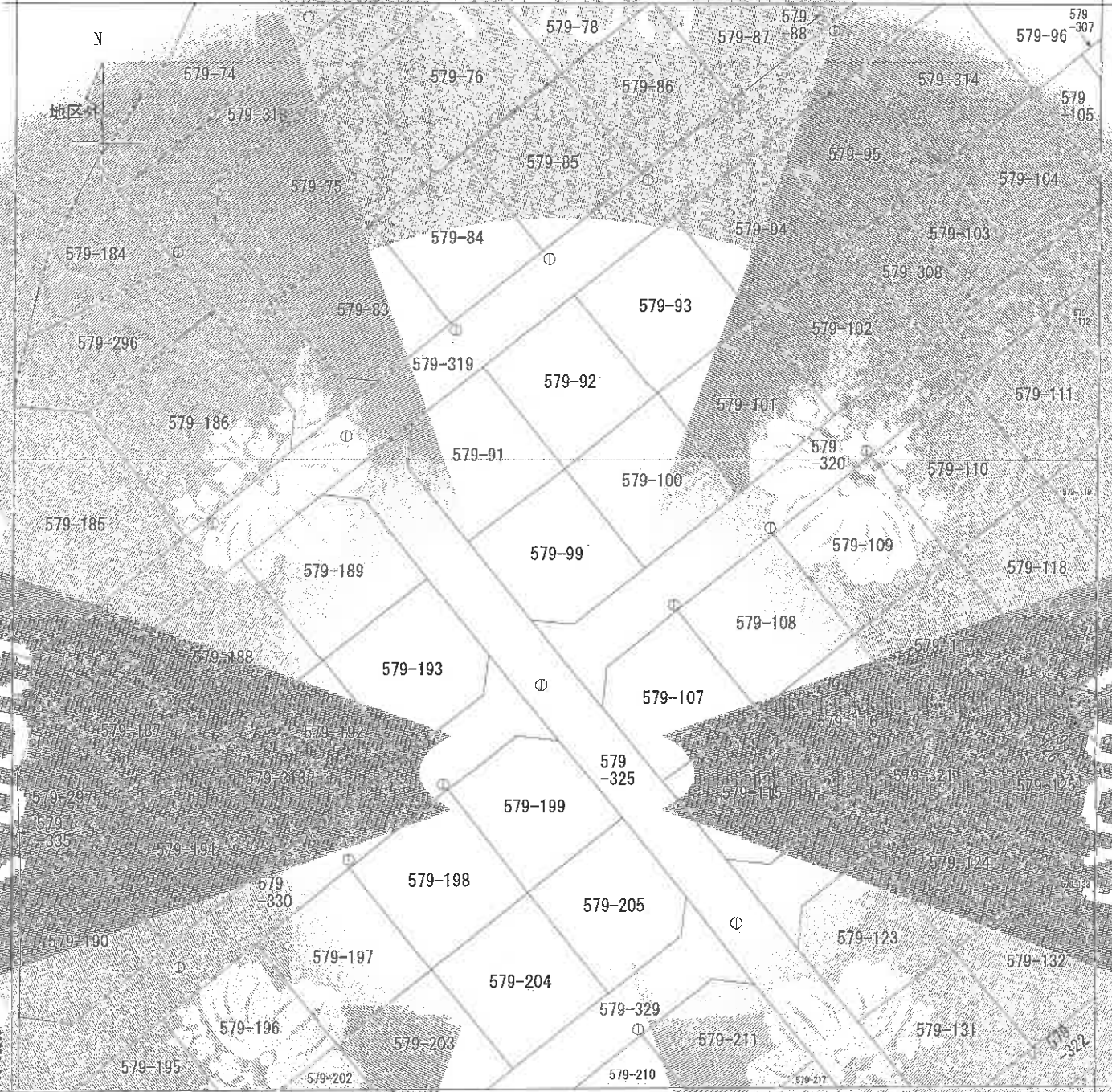
(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

A3→A4への縮小書面

イ 579-140

(座標値種別：図上測定)

+34941.369



+34816.369

(座標値種別：図上測定)

地番区域見出し
吉無田郷

請求部分	所在	西役村郡長与町吉無田郷字切立			地番	579番99	
出力縮尺	1/500	精度区分	申請	標準番号	分類	地図(法第14条第1項)	
作成年月日				備付年月日(原図)	平成6年2月26日	補記事項	

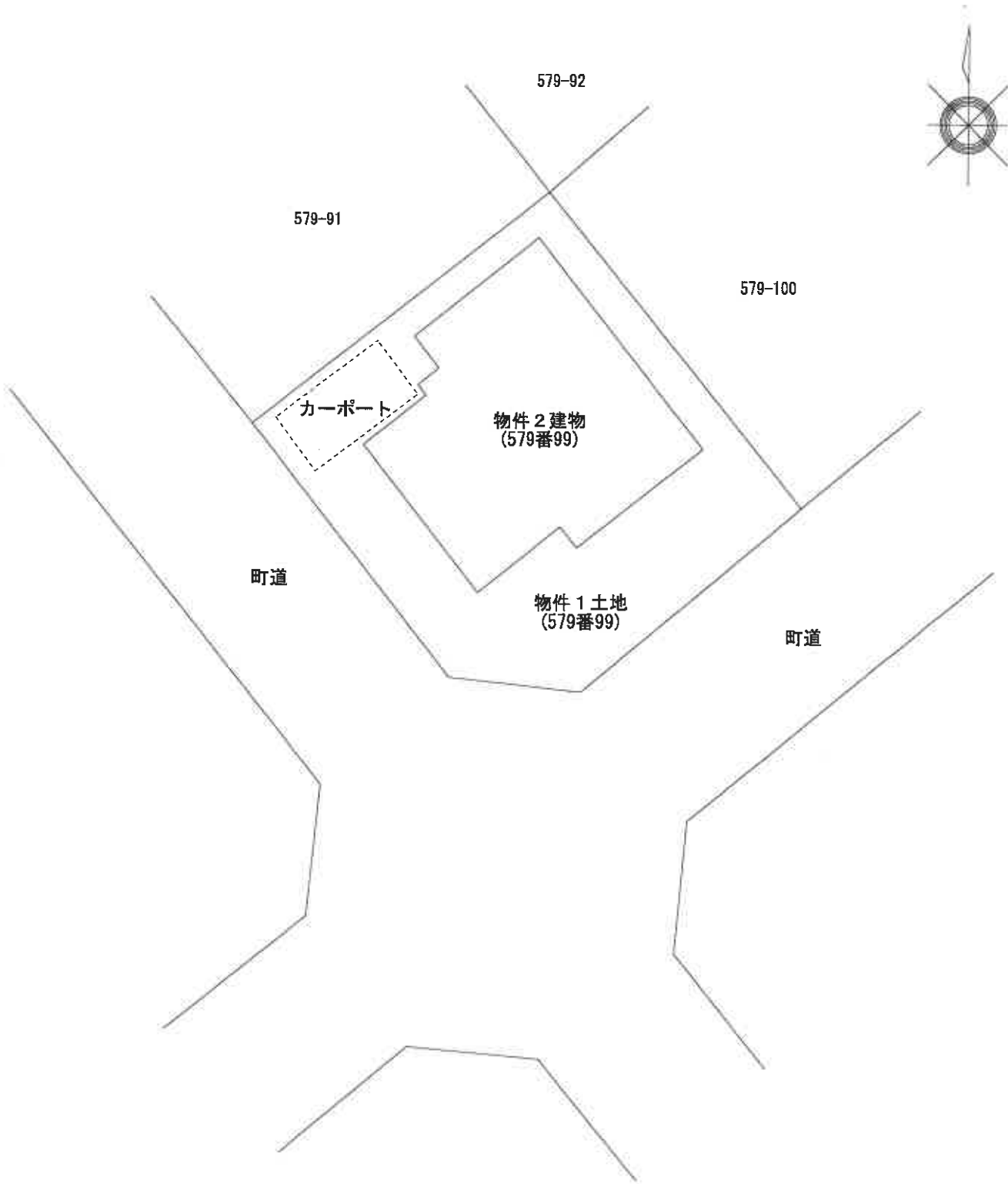
これは地図に記載されている内容を証明した書面である。

令和7年12月12日
長崎地方方法務局

請求番号：27-1
(1/1)

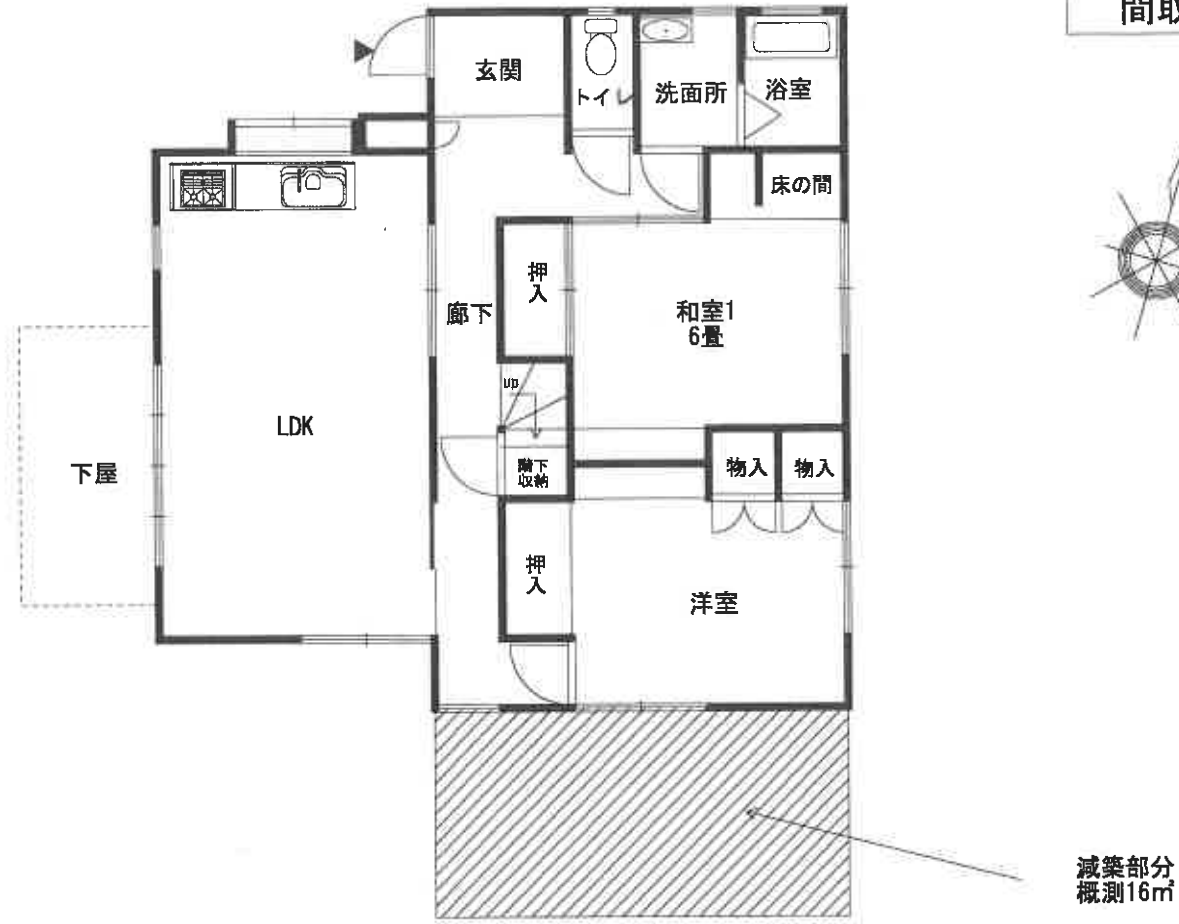
公用

土地建物位置関係図



※この図面は建物等の位置を概略的に表示したものであり、境界等の確定的な位置を保証するものではない。

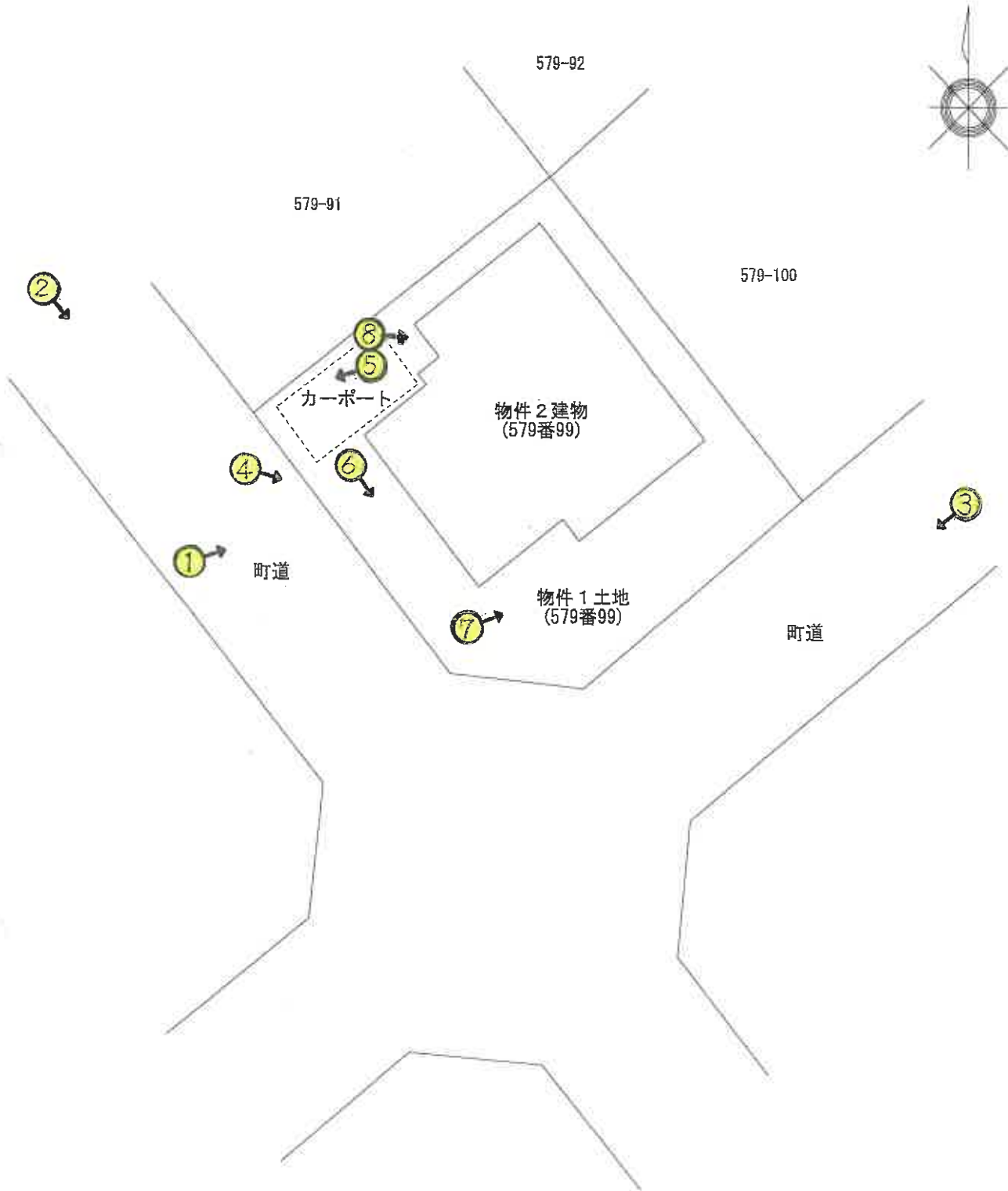
間取図



※ 間取りの配置等を概略的に表示したものである。
※ 和室の畳数は、畳の枚数（半畳は0.5として）をもとに表示している。

土地建物位置関係図

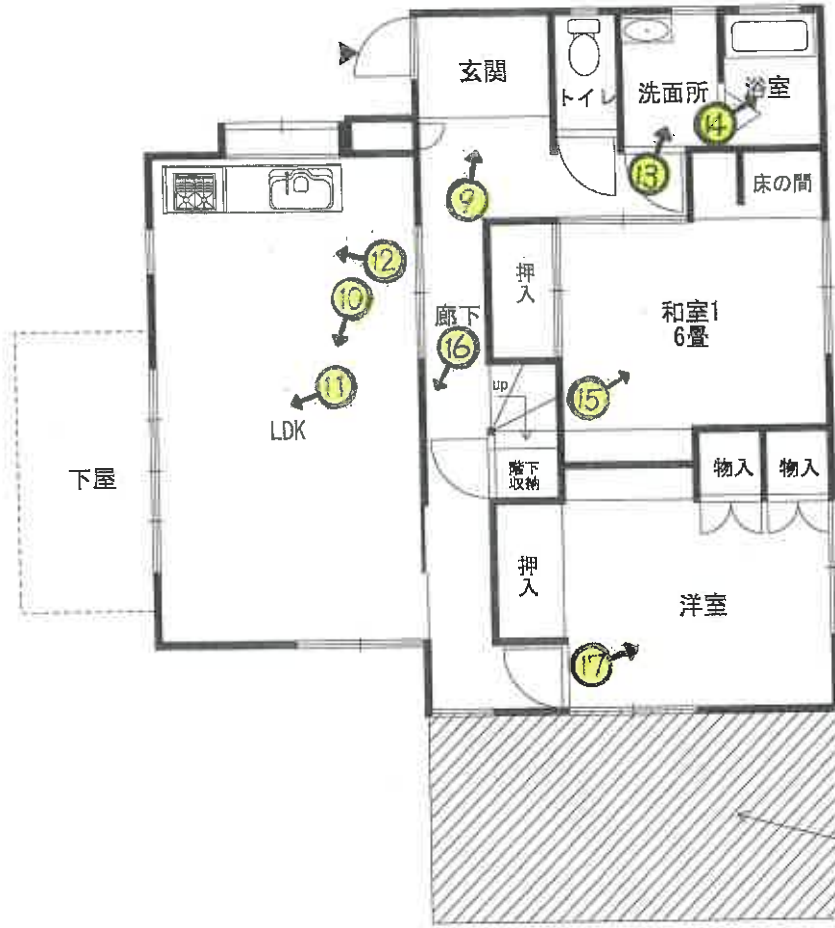
←●写真撮影位置方向



※この図面は建物等の位置を概略的に表示したものであり、境界等の確定的な位置を保証するものではない。

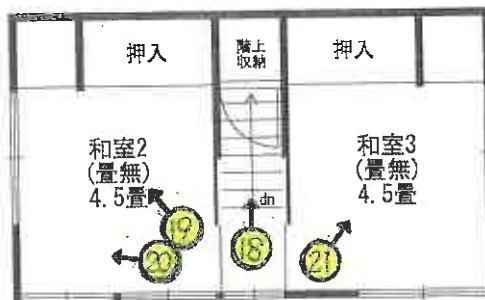
← 写真撮影位置方向

間取図



減築部分
概測16m²

1階



2階

※ 間取りの配置等を概略的に表示したものである。
 ※ 和室の畳数は、畳の枚数（半畳は0.5として）をもとに表示している。



接道状況

②

接道状況

③



町道



町道

ブロック塀に見られる亀裂

④



カーポートの設置状況

⑤



南西側の状況

⑥



南東側の状況

⑦



ポーチ

⑧



玄関

⑨



LDK

⑩



天窓

⑪



LDK

⑫



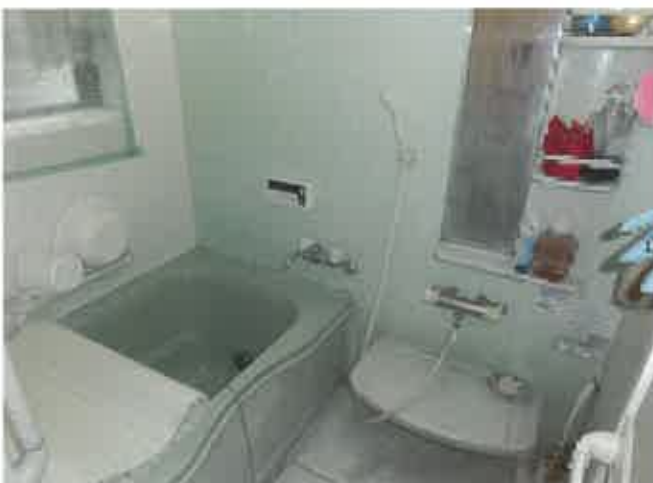
洗面所

⑬



浴室

⑭



和室1

⑮



壁の損傷状況

⑩⑥



洋室

⑩⑦



屋上収納

⑩⑧



和室 2

⑩⑨



小火の跡

⑩⑩



和室 3

⑩⑪



副本

令和7年(ケ)第13号
令和7年12月9日 受領日
令和8年1月7日 現地調査
令和8年1月29日 評価

長崎地方裁判所 御中

評 価 書

評価人 不動産鑑定士

渡辺 浩一

第1 評価額

一 括 価 格	
金7,060,000円	
内 訳 価 格	
物件1	金4,370,000円
物件2	金2,690,000円

- ① 一括価格は、物件1、2の各不動産について、一括売却（民事執行法61条本文）をおこなうことを前提とした場合の合計価格である。
- ② 内訳価格は、配当等の判断のために一括価格の内訳として算出した価格である。
- ③ 物件1の内訳価格は物件2のための土地利用権等価格を控除した価格であり、物件2の価格は当該土地利用権等付建物としての価格である。

第2 評価の条件

- 1 本件評価は、民事執行法により売却に付されることを前提とした適正価格を求めるものである。
したがって、求めるべき評価額は、一般の取引市場において形成される価格ではなく、一般の不動産取引と比較して競売不動産特有の各種の制約（売主の協力が得られないことが常態であること、買受希望者は内覧制度によるほかは物件内部の確認が直接できないこと、引渡しを受けるために法定の手続をとらなければならない場合があること、目的物の種類又は品質に関する不適合には担保責任がないこと等）等の特殊性を反映させた価格とする。
- 2 評価は、目的物件の調査時点における現状に基づいて行うものであり、調査日以降発生した物件の現状変更については原則として考慮していない。
- 3 現地での物件調査は、原則として目視可能な部分に限定される。
- 4 物件に関する情報提供の内容は、民事執行法58条4項に定める場合を除いて、原則として公共機関で公開された資料に基づくものである。

第3 目的物件

現況欄に記載のない事項については、ほぼ登記記録の記載と同じ

番号	所在等	登記	現況
1	所在地 地目 地積	西彼杵郡長与町吉無田郷字切立 579番99 宅地 200.56㎡	同左
2	所 家屋番号 種 類 構 造 床面積	西彼杵郡長与町吉無田郷字切立579番地99 579番99 居宅 木造セメント瓦葺2階建 1階 97.92㎡ 2階 25.79㎡ 合計 123.71㎡	1階 概測81.92㎡ 合計 概測107.71㎡
番号	特記事項		
2	1階部分が未登記で概測16㎡減築されているため1階部分の床面積が概測81.92㎡、合計面積が概測107.71㎡となる。		

第4 目的物件の位置・環境等

1 土地の概況及び利用状況等（物件1）

位置・交通	JR長崎本線「長与」駅の南西方・道路距離約1.3km 最寄バス停「青葉台団地」の北西方・約230m（徒歩約3分）
付近の状況	区画整然とした一般住宅が建ち並ぶ青葉台団地に存する住宅地域
主な公法上の規制等 （道路幅員等の個別的な規制を考慮しない一般的な規制）	都市計画区分：市街化区域 用途地域：第一種低層住居専用地域 建蔽率：50% 容積率：100% 防火規制：－ その他の規制：－
画地条件	面積：200.56㎡ 間口：約14.5m 奥行：約13.5m 形状：ほぼ正方形地 接面関係：角地
接面道路の状況	南西側で現況幅員約6mのアスファルト舗装の町道「青葉台15号線」（建築基準法42条1項1号）に0～1m高く接面。南東側で現況幅員約6mのアスファルト舗装の町道「青葉台10号線」（建築基準法42条1項1号）に1～1.6m高く接面。
土地の利用状況等	物件2の敷地として利用されている。隣接不動産の状況は、周囲は住宅。
供給処理施設	上水道：前面道路に本管あり ガス管：前面道路に集中プロパンのガス管有 下水道：前面道路に本管あり (注) 供給処理施設における「前面道路に本管あり」とは、対象物件の前面道路に公的セクターが管理する本管（以下、「施設管」という）があることをいう。「なし」とは、対象物件を含めた周辺に施設管が配置されておらず、敷地内に引き込むことが不可能な場合をいう。
特記事項	① 埋蔵文化財の有無及びその状況について：評価時点現在、受命物件は周知の埋蔵文化財包蔵地に含まれていない。 ② 土壌汚染の有無及びその状況について：公的資料の確認、実地調査からは土壌汚染の存在の端緒は確認できなかったが、正確な有無については専門調査機関による土壌汚染調査が必要となる。 ③ 敷地内にカーポートが存する（附属資料「土地建物位置関係図」のとおり）

2 建物の概況及び利用状況（物件2）

区分	主である建物
建築時期及び経済的残存耐用年数	建築年月日（登記記載）：昭和49年11月22日新築 経過年数：51年 経済的残存耐用年数：0年（経済的耐用年数はほぼ満了）
仕様	構造：木造 屋根：セメント瓦葺 外壁：サイディングボード等 内壁：ビニールクロス貼, じゅらく塗等 天井：ビニールクロス貼, 目透天井等 床：フローリング, 畳等 設備：電気・給排水・衛生等 その他：特になし
床面積（現況）	「第3 目的物件欄」記載のとおり
現況用途等	階層：2階建 現況用途：居宅 間取り：4LDK（附属資料「間取図」のとおり）
品等	資材：普通 施工：普通 総合：普通
保守管理の状態	普通
建物の利用状況	「現況調査報告書」記載のとおり
特記事項	① 建物の各種設備については、動作確認まで行っていないため、使用可能かどうかは不明である。 ② 対象建物について、建築時期・構造・種類等の要因を踏まえ現場調査を行った結果、アスベスト含有建材が使用されている可能性は否定できない。なお、アスベスト使用の詳細については専門調査機関の分析調査を要する。 ③ 所有者によると、約17年前に未登記で減築を行い、その際に1階の大部分をリフォームしたとのこと。2Fの和室については、畳を取りコンパネを敷いている状態。また、猫を1匹飼っており、壁等に引っ掻き傷がある。 また、2F天井に雨漏り跡のようなシミが見られるが、昔、小さな火の不始末跡とのこと。

第5 評価額算出の過程

1 基礎となる価格

① 物件1 (土地)

目的土地の建付地価格を次のとおり求めた。

物件 番号	標準画地価格 (円/㎡) ア	個別 格差 イ	地積 (㎡) ウ	建付減価 エ	建付地価格(円) (万円未満四捨五入) ア×イ×ウ×エ=オ
1	56,000	1.056	200.56	0.90	10,670,000

ア 標準画地価格 (公示価格等からの規準)

地価調査：「長与(県)-2」

$$\begin{array}{cccccc} \text{基準地価格} & \text{時点修正} & \text{標準化補正} & \text{地域格差} & \text{標準画地価格} & \\ 57,500\text{円}/\text{㎡} & \times \frac{100.9}{100} & \times \frac{100}{103.0} & \times \frac{100}{100.5} & \cong & 56,000\text{円}/\text{㎡} \end{array}$$

◇時 点 修 正：公示価格等の価格時点から評価日までの推定変動率である

◇標準化補正：方位 +3.0

◇地 域 格 差：街路条件 接近条件 環境条件 行政的条件 地域格差
1.000 × 1.005 × 1.000 × 1.000 = 1.005

イ 個 別 格 差：角地 方位 個別格差
1.030 × 1.025 ≅ 1.056

ウ 地 積：登記面積による

エ 建 付 減 価：中古建物であることを考慮 ▲10%

② 物件2 (建物)

目的建物の再調達原価を、建物建築費の推移動向を考慮した標準的な建築費に比準して求め、これに耐用年数に基づく方法及び観察減価法を併用して求めた現価率を乗じて、建物の価格を求めた。

物件 番号	再調達原価 (円/㎡) ア	現況延床面積 (㎡) イ	現価率 ウ	建物の価格(円) (万円未満四捨五入) ア×イ×ウ=エ
2	125,000	107.71	0.040	540,000

イ 現況延床面積：概測面積による

ウ 現 価 率：耐用年数に基づく方法及び観察減価法を併用し、現価率を査定した。

・ n (経過年数)：51年, N (経過年数+経済的残存耐用年数)：51年

・ q (観察減価及び中古建物の市場性)：20%, R (残価率)：5%

現価率 = $\{1 - (1-R) \times (n \div N)\} \times (1-q) = 0.040$ (小数点第三位未満切捨て)

2 評価額の判定

前記により求めた価格に、土地については土地利用権等価格を控除し、建物については土地利用権等価格を加算し、競売市場修正等を施して、下記のとおり評価額を求めた。

① 土地利用権等価格

物件 番号	建付地価格 (円) ア	土地利用権等割合 イ		土地利用権等価格(円) (万円未満四捨五入) ア×イ=ウ
1	10,670,000	0.35	法定地上権	3,730,000

イ 土地利用権等割合：土地利用権等を法定地上権と判定し、その割合を35%と査定した

② 内訳価格及び一括価格

物件 番号	基礎となる 価格 (円) (1①オ, 1②エ) ア	土地利用権等価格 の控除及び加算 (円) (2①ウ) イ	占有減 価修正 ウ	市場性 修正 エ	競売 市場 修正 オ	評価額 (円) (万円未満四捨五入) (ア+イ)×ウ×エ×オ
1	10,670,000	-3,730,000	/	0.90	0.70	4,370,000
2	540,000	+3,730,000	-	0.90	0.70	2,690,000
一括価格 (合計)						7,060,000

ウ 占有減価修正：特にない

エ 市場性修正：築51年経過した建物が存することを考慮した

オ 競売市場修正：第2の評価条件記載の不動産競売市場の特殊性等を考慮した

第6 参考価格資料

1 地価調査価格 (長与(県)-2)

所 在 : 西彼杵郡長与町吉無田郷字切立579番214
価 格 : 57,500円/㎡
位 置 : JR「長与」駅まで約1.3km
価 格 時 点 : 令和7年7月1日
地 積 : 204㎡
供給処理施設 : 水道・ガス・下水
接 面 街 路 : 南東側が幅員約6mの町道に接面
用 途 指 定 等 : 市街化区域・第1種低層住居専用地域・建蔽率:50%・容積率:100%
地 域 の 概 要 : 区画整然とした一般住宅が建ち並ぶ中規模住宅団地

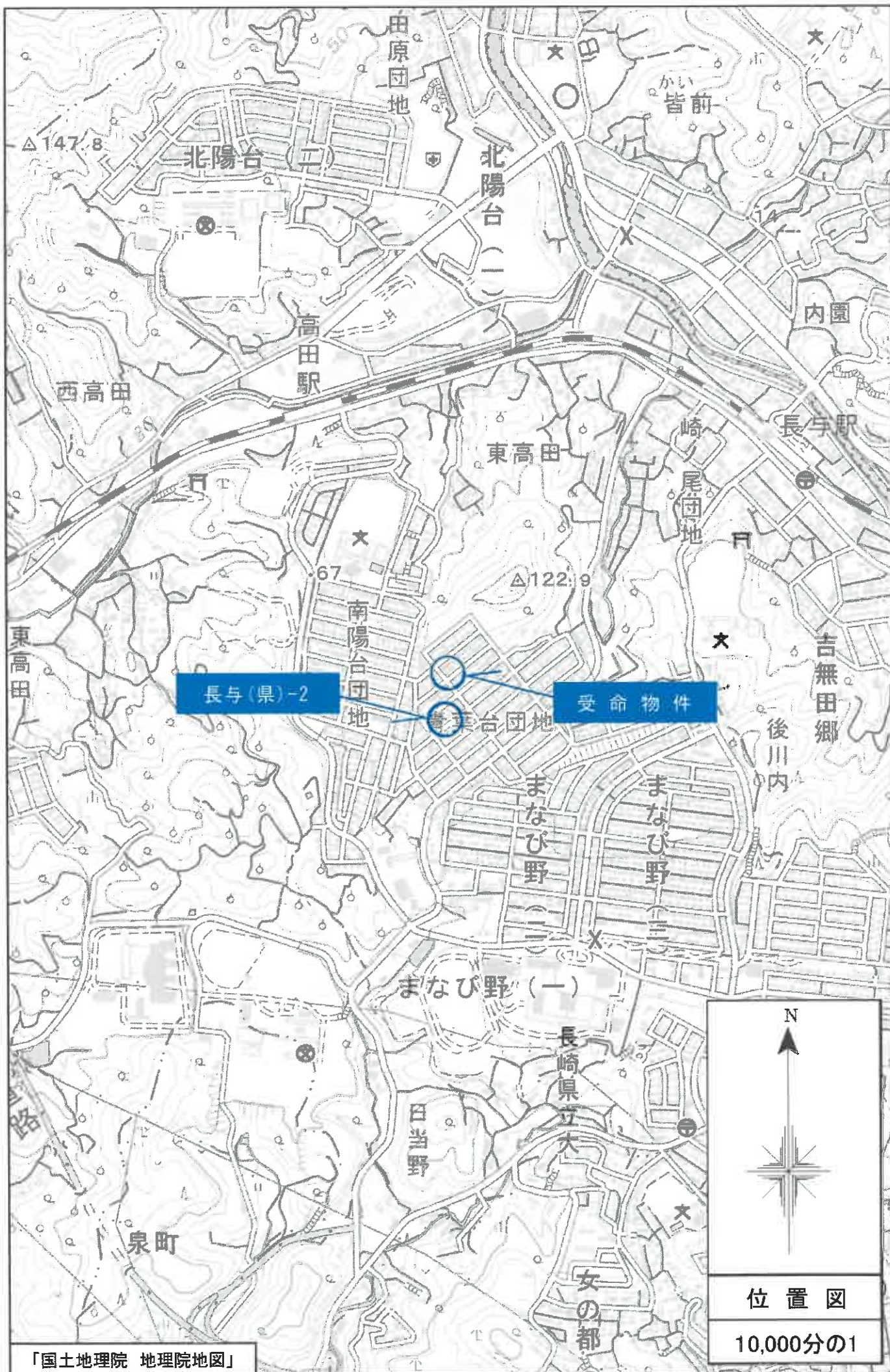
2 固定資産税評価額 (令和7年度)

物 件	1	7,745,426円
物 件	2	2,110,666円

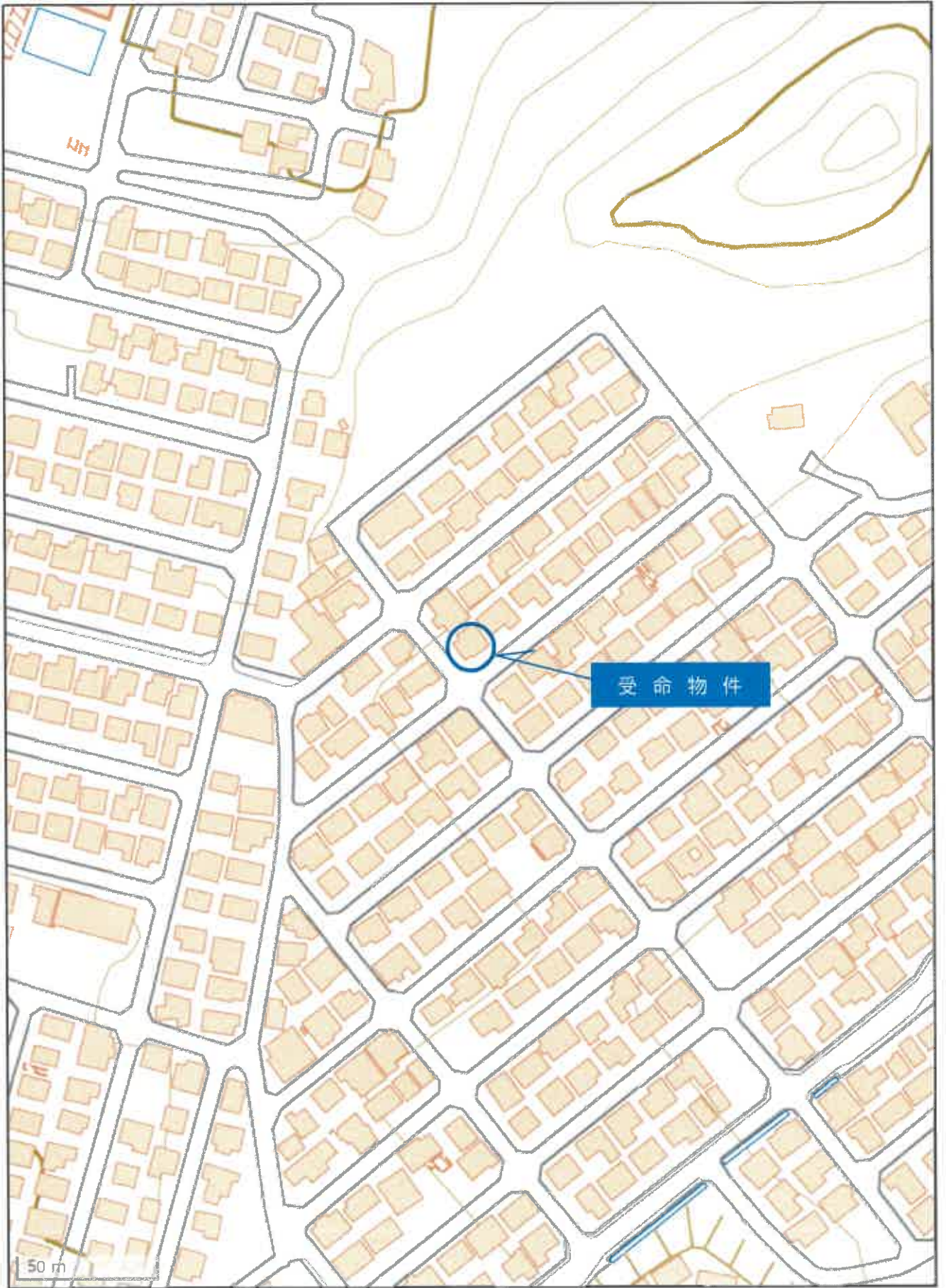
ここに掲げた参考価格資料は、当該不動産の評価額を算定するに当たって参考とした価格にすぎない。決定した評価額は不動産競売を前提とした価格であり、ここに掲げた額とは、その性質上異なる額である。

第7 附属資料

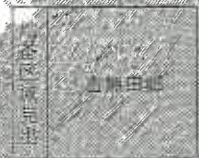
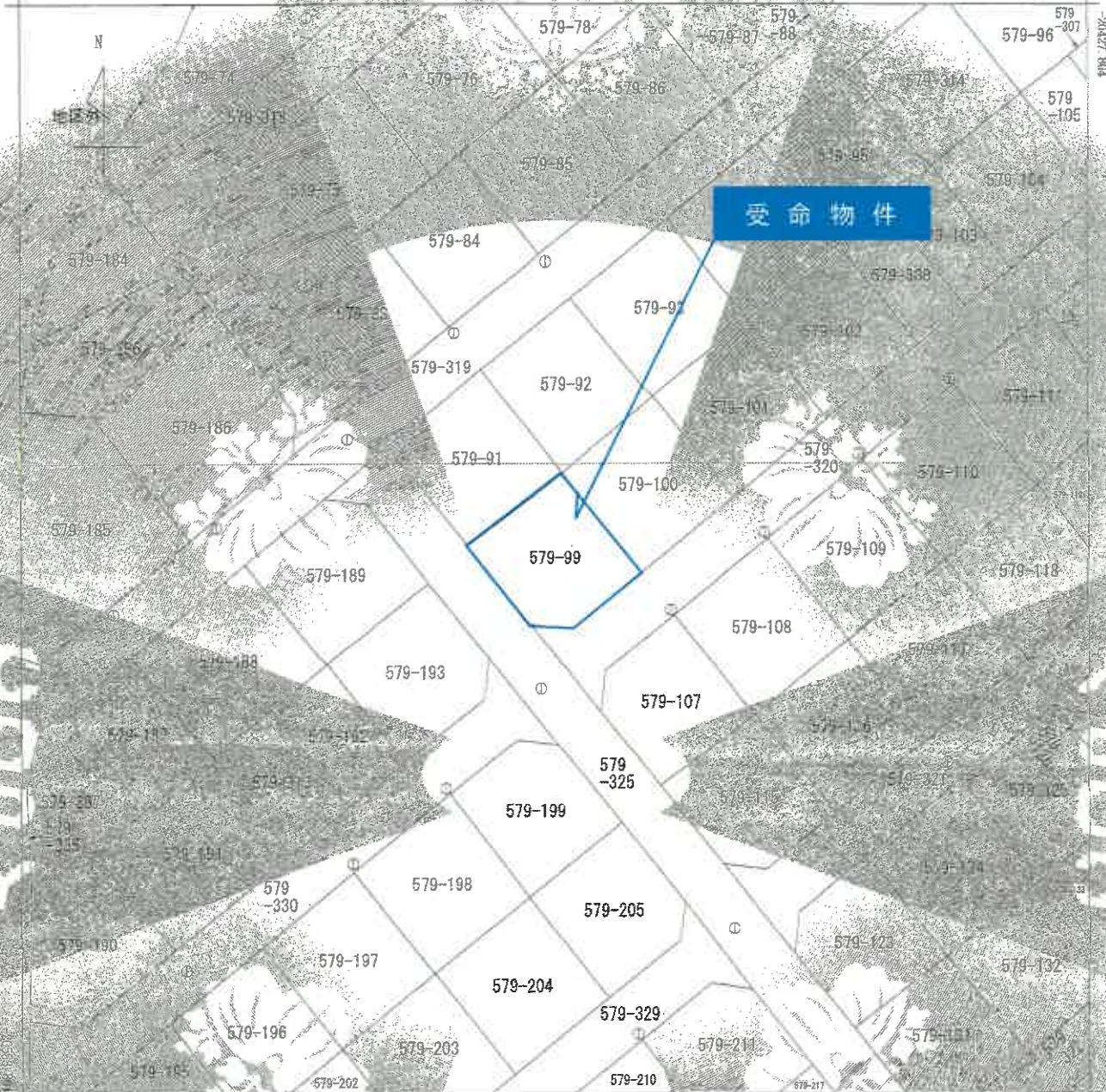
- 1 位置図
- 2 見取図
- 3 公図等(写)
- 4 建物図面・各階平面図(写)
- 5 土地建物位置関係図
- 6 間取図



見取図



添付B



所在地	宮城県長岡市青葉区長岡			地番	579番99
出典	地籍簿	地籍簿	地籍簿	分類	地籍法第14条第1項
作成年月日	平成6年2月26日	補記事項			

これは地図に記載されている内容と証明した書面である。

令和7年8月20日
長崎地方方法務局

地図整理番号：M17957
(1/1)

縮小実施

A3版からA4版に縮小

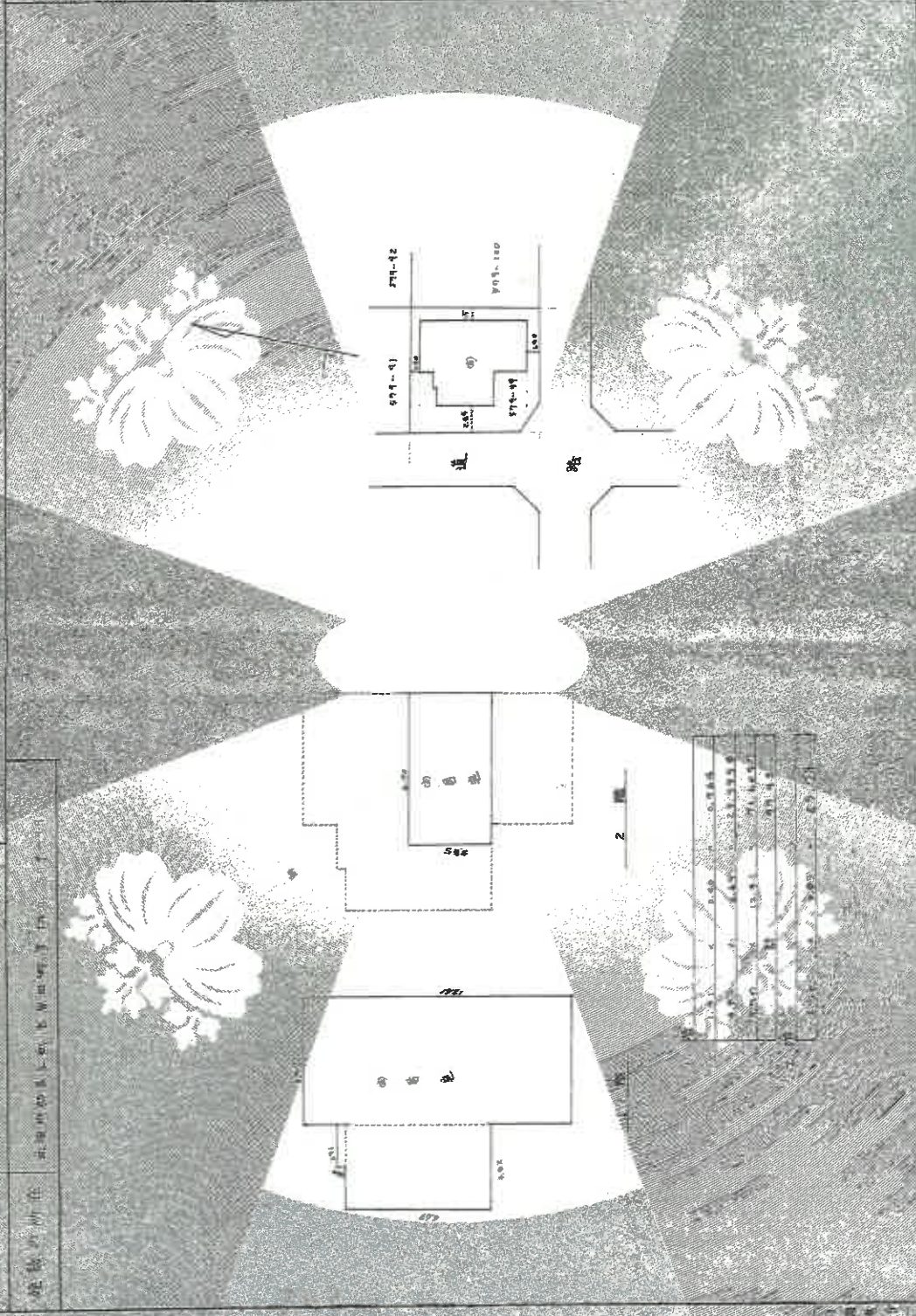
昭和59年8月20日登記

建物平面図

320858

所在地
東京都中央区千代田区千代田

図 名	建物平面図
作 者	〇〇〇〇〇〇
作 成 日	〇〇〇〇年〇〇月〇〇日



昭和59年8月20日登記

登記年月日 昭和59年8月20日

これは図面に記載の権利

と異なる事項は記載されず

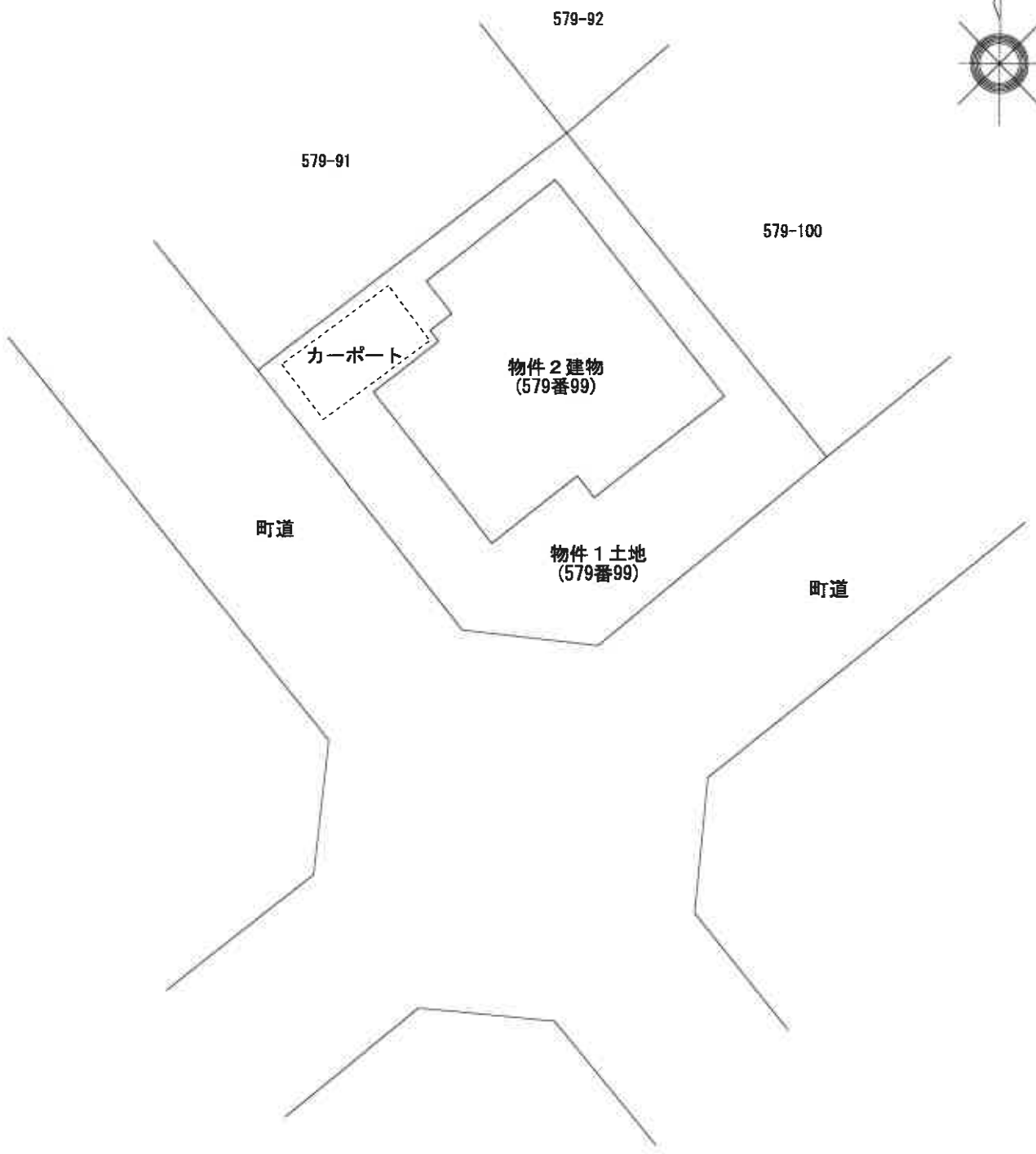
縮小

縮小実施

A3版からA4版に縮小

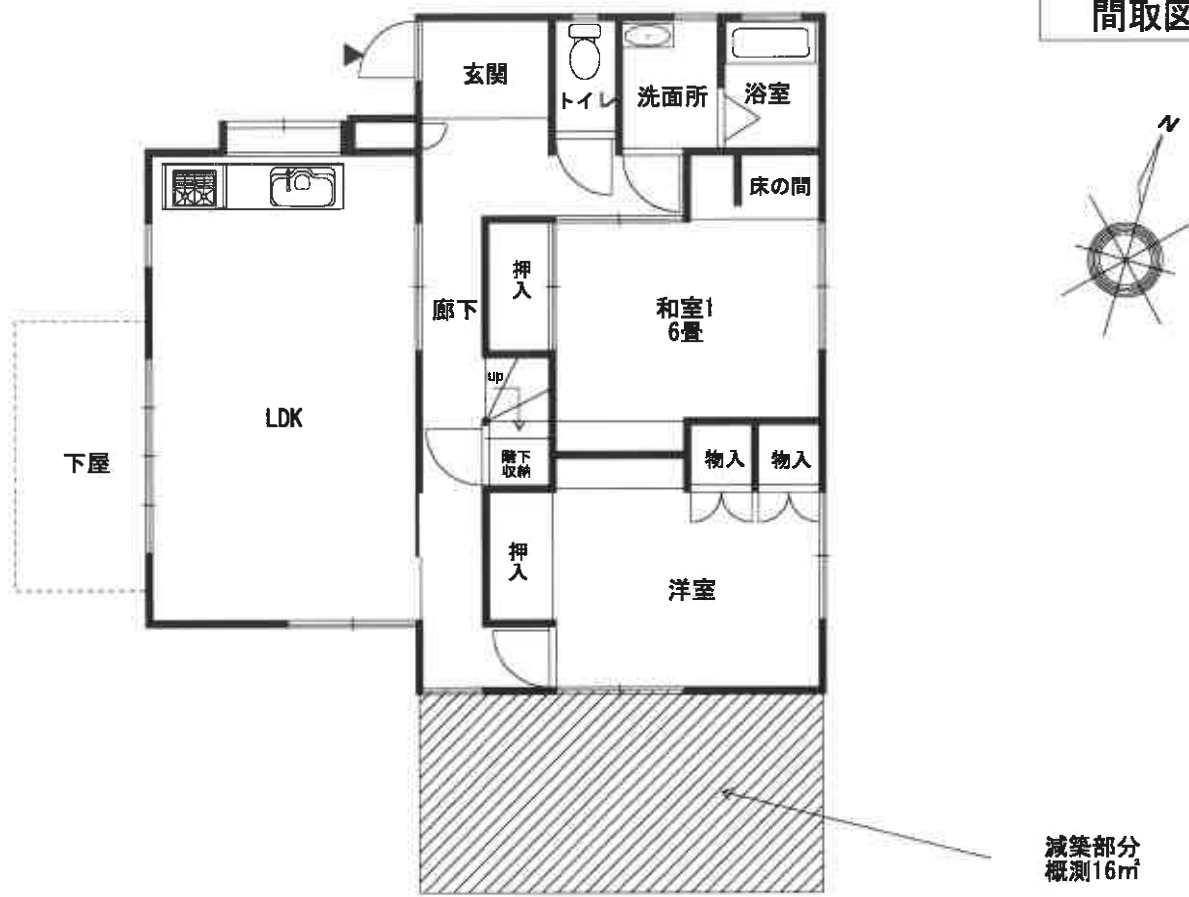
図鑑番号：M17958

土地建物位置関係図



※この図面は建物等の位置を概略的に表示したものであり、境界等の確定的な位置を保証するものではない。

間取図



1階



2階

※ 間取りの配置等を概略的に表示したものである。
※ 和室の畳数は、畳の枚数（半畳は0.5として）をもとに表示している。